

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成 27 年度～令和元年度（5 年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（みや しょうかわ） 宮・庄川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 ひだ 飛騨森林管理署												
完了後経過年数	4 年	管 理 主 体	中部森林管理局 飛騨森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、宮・庄川森林計画区の高山市を含む 2 市 1 村に所在する約 117 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は岐阜県飛騨地方北部に位置し、県下森林面積の 31%を占め、標高が高い部分はブナやナラ等の天然林が多く、比較的標高の低い部分はカラマツ、スギ、ヒノキを主とした人工林になっている。</p> <p>森林現況は、人工林 29%、天然林 54%、その他 17%であり、このうち人工林について、樹種別割合はカラマツ 36%、スギ 29%、ヒノキ 29%、齢級構成は 10 齢級から 14 齢級の林分が多く約 7 割を占めており、主伐を見据えた路網整備や主伐後の更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>本地域は、古くから林業・木材産業が盛んであり、木材関連産業は地場産業となっていることから、国有林においても木材の安定供給を通じ、地域産業に寄与することが期待されている。</p> <p>また、奥地山岳地域は急峻で地質が脆弱だが、高山市等の地域の重要な水源地となっており、国有林の 98%が土砂流出防備保安林等に指定されるなど、土砂の流出や崩壊の防備、水源の涵養等に重要な役割を果たしており、優れた自然景観を有している地域については、中部山岳国立公園や白山国立公園等の自然公園に指定されるとともに、御岳自然休養林や飛騨白山白川郷自然休養林のレクリエーションの森を利用した登山や自然観察として多くの人々に利用されている。</p> <p>このため、本事業地は本計画区内の国有林の有する水源涵機能や山地保全機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化防止及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、間伐等の森林整備等を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設や改良等を実施したものである。</p> <p>・ 主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>133 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,484 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.9 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	133 ha		保育面積	2,484 ha	路網整備	開設延長	5.9 km		改良延長	1.9 km
森林整備	更新面積	133 ha													
	保育面積	2,484 ha													
路網整備	開設延長	5.9 km													
	改良延長	1.9 km													

	<p>・総事業費 3,833,084 千円（税抜き 3,546,911 千円） （平成 26 年度の評価時点 3,719,181 千円（税抜き 3,443,686 千円））</p>
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>事前評価（平成 26 年度）で算出した総便益及び総費用と、完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異について、総費用が増加した主な要因は、木材需給量の拡大に伴う木材生産を増やすため、搬出間伐等を増加したことで費用が増えたものである。総便益が減少した主な要因は、林道等の路網の一部が被災し、災害復旧完了まで一時的に通行できなくなったため、その先で計画されていた林道等の路網の整備が不可能となり、当該路網整備により見込まれていた経費が計上できなくなり便益が落ちたものである。</p> <p>なお、令和 6 年度時点の評価では、物価変動の影響を除くためのデフレーター適用や消費税の控除等を行っている。</p> <p>令和 6 年度時点における費用便益分析結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 21,348,320 千円（平成 26 年度の評価時点：22,377,158 千円※） 総費用(C) 6,353,383 千円（平成 26 年度の評価時点：4,257,308 千円※） 分析結果(B/C) 3.36（平成 26 年度の評価時点：5.26）</p>
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施を通じ、更新作業、保育作業等の森林整備により、水源涵養機能等の公益的機能の維持増進が図られた。また、列状間伐の実施や高性能林業機械の使用により効率的に作業が実施されており、森林整備事業における雇用の場が提供されている。</p> <p>また、路網整備により森林整備実施箇所までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等により、木材の安定的な供給に寄与している。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備した森林は、適切に管理しており、良好な管理状況にあるものの、一部においてニホンジカによる食害が発生した箇所もあり、シカ防護柵設置等の対策を講じている。</p> <p>また、整備した路網（28 路線）についても間伐等の事業を実施する際には、草刈りや路面の整備等を適宜行っている。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材の安定供給、地球温暖化防止や生物多様性の保全等、様々な多面的機能が発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本計画区における人口が年々減少傾向にある中、令和 2 年度の林業就業者は 334 人であり、平成 27 年度は 388 人と事業実施前と比べ減少傾向にある。</p> <p>こうした状況の中、本事業の実施を通じて、効率的で生産性の高い高性能林業機械を活用して木材の安定的な供給や地域経済の振興に寄与することが求められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の持続的な発揮、木材の安定的供給等を図るため、周辺環境に配慮しつつ、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に森林整備・路網整備を実施する必要がある。</p> <p>下刈り回数の削減等、森林整備の低コスト化やニホンジカ等による食害防止対</p>

<p>地元の意見：</p>	<p>策を引き続き推進するとともに、針葉樹と広葉樹が混ざり合った針広混交林への誘導等、多様な森林整備を行いつつ、地域の木材需要にも積極的に応えていく必要がある。</p> <p>(岐阜県)</p> <p>適切な事業実施により、木材の安定供給がなされるとともに、水源涵養機能や土砂災害防止機能をはじめとする森林の多面的機能の持続的発揮に寄与していると認識している。</p> <p>また、本県では「第4期岐阜県森林づくり基本計画」に基づき、災害に強い循環型の森林づくりや主伐・再造林の推進を行っているが、森林整備の低コスト化やニホンジカ等による食害対策については大きな課題であり、国有林と民有林が一層連携して取り組んでいく必要がある。</p>
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>本事業により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き、森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通じて地域の振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 間伐等の森林整備やそれに必要な路網の開設、改良を通じて、公益的機能の持続的な発揮と合わせ、スギ等の木材を安定的に供給することにより、地域の林業、木材産業の振興にも寄与しており、必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては、現地の地形・地質状況に適した工種・工法を採用した開設及び改良工事を実施し、森林整備実施箇所へのアクセスの向上を図るとともに、森林整備においては、更新・保育作業等で植栽本数や下刈回数の削減を図るなど、コスト縮減が図られており、費用便益分析結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。

※平成 26 年度の評価時点における数値は、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岐阜県

施行箇所：宮・庄川森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,676,003	
	流域貯水便益	1,417,725	
	水質浄化便益	3,954,541	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,302,593	
環境保全便益	炭素固定便益	1,014,339	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	143,214	
	木材利用増進便益	209,346	
	木材生産確保・増進便益	1,363,296	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,267,263	
総 便 益 (B)		21,348,320	
総 費 用 (C)		6,353,383	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,348,320}{6,353,383} = 3.36$		

森林環境保全整備事業 宮・庄川森林計画区 事業概要図

森林整備事業（下刈前）



（下刈後）



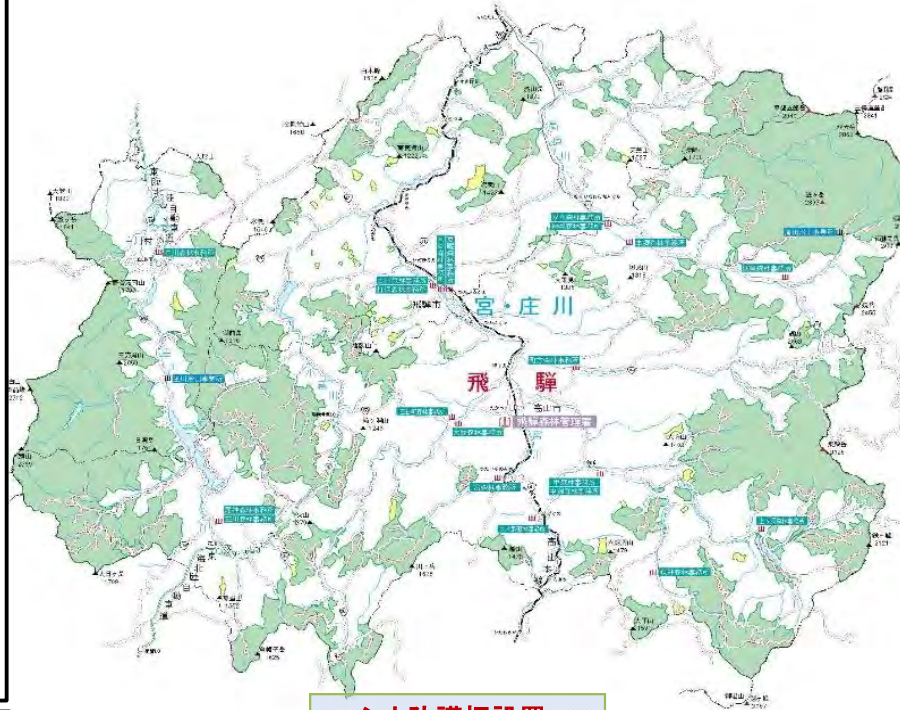
飛騨森林管理署 三尾山国有林

森林整備事業（間伐後）



飛騨森林管理署 千間樽国有林 間伐

宮・庄川森林計画区



シカ防護柵設置



飛騨森林管理署 牛牧国有林

中部森林管理局管内
森林計画区位置図



路網整備事業（林道改良工事）



飛騨森林管理署 双六細越 改良工事



飛騨森林管理署 双六細越 改良工事